

2020年12月7日
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平
担当ワーキンググループ主査 林 希一郎

インド国ベンガルールメトロ建設事業フェーズ2
(有償資金協力)
環境レビューに対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2020年11月27日（金）14:00～17:19
- ・場所：オンライン会議（Teams）
- ・ワーキンググループ委員：石田委員、小椋委員、源氏田委員、作本委員、林委員
- ・議題：インド国ベンガルールメトロ建設事業フェーズ2（有償資金協力）に係る環境レビューについての助言案作成
- ・配付資料：
 - 1) 【2A号線】EIA
 - 2) 【2A号線】vol1&2
 - 3) 【2B号線】EIA
 - 4) 【2B号線】RP vol1&2
 - 5) 【6号線】EIA
 - 6) 【6号線】SIA
 - 7) 【6号線】addendum of EIA
 - 8) 【全線共通】addendum of SIA
 - 9) 【全線共通】JICA GL Gaps and Scoping and Impact Assessment Matrix
 - 10) 【環境レビュー方針】インド国ベンガルール地下鉄建設事業（フェーズ2）
 - 11) 回答表及び別添資料
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン（2010年4月）

全体会合（第119回委員会）

- ・日時：2020年12月7日（金）14:00～16:32
- ・場所：オンライン会議

上記の会合にて助言を確定した。

助言

環境配慮

1. 騒音について防音壁を設置しても現況に加え 3dB 上の超過がある場合には、レセプター側でコントラクターが防音工事を行うなど、必要な緩和策を講じるよう実施機関に申し入れること。
2. 植林された樹木の 4 年目以降の生育状況の実情を可能な範囲で確認し健全な成長が見込まれることを継続してモニタリングするよう実施機関に申し入れること。
3. 駅舎及びデポからの環境社会影響の有無を確認し、必要な場合には緩和策を実施するよう実施機関に申し入れること。
4. インドでは振動基準が未整備のため、特に供用後の振動の影響については十分な確認を行い、必要な場合には緩和策を行うよう実施機関に申し入れること。

社会配慮

5. 被影響住民の生計への影響が実際にどの程度回復しているか、可能な限り実施機関に確認すること。
6. 環境社会面のモニタリング結果を JICA HP 上で公開することを実施機関と合意するよう申し入れること。

以上